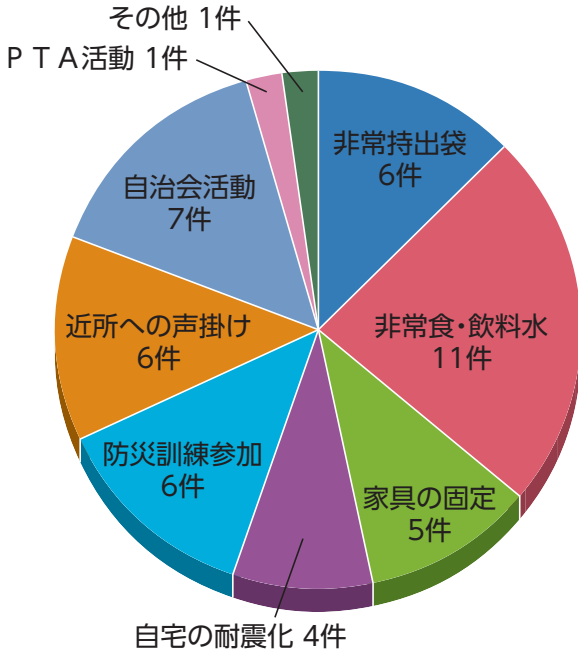




前回の政策特集「防災」に対して15人の市民の皆さんから意見をいただきました。代表的なものを紹介します。

(1) 災害への備えとして、自分で自分を守る「自助」・地域でお互いに助け合う「共助」について、日ごろから行っていることや、心掛けていることは何ですか。



(2) 「自助」「共助」について、今後、あなたが実践しようと思っていること、大切だと思うことなどを教えてください。

- 寝室の家具を転倒しないよう固定する(下岡本町・50代)。
- 車のガソリンが半分以下になったら、給油するよう心掛けている(下岡本町・50代)。
- 地域の防災訓練の参加者が少ない。訓練に参加することで、災害時に戸惑わずに済むと思う(西川田町・60代)。
- 避難の際は、玄関に伝言板を設置し、避難先や無事を周囲の人に知らせようと思う(中今泉町・40代)。

4～9ページで風水害の特集を掲載しているよ。みんなも防災について、もう一度考えてみよう。



前回の政策特集「防災」の概要



そのとき、宇都宮で何が起きるのでしょうか

東日本大震災のような大きな地震が宇都宮で発生したら、私たちの周りでのどのような被害が出るのか考えたことはありますか。日ごろから、地震が発生してからの状態をイメージしておくことは、地震対策を行う上でとても重要です。地震は自然現象なので止められませんが、被害を少なくする準備を進めることはできます。そのために、私たちは何ができるでしょうか。

防災力を高めよう「自助・共助・公助」

自分の命は自分で守る(自助)ため、平常時から、非常持出品の準備や家屋の耐震改修、家具の固定など、身の回りの安全対策を行うと共に、普段から防災について家族で話し合う機会を持ちましょう。また、災害発生時の初期消火や被災者の救助・救護などの大きな力となるのは、町内の人同士の助け合い(共助)です。日ごろから、近所付き合いや、高齢者への声掛けなどを心掛けましょう。市では、防災計画に基づき、災害に強いまちづくりを進めています(公助)。

広報うつのみやプラスや政策特集は、皆さんと一緒に考えていただきたいテーマを取り上げ、年4回編集します。

料金受取人払郵便

宇都宮支店
承認

3191

差出有効期間
平成26年8月
15日まで

【切手不要】

3 2 0 8 7 4 0

(受取人)

宇都宮市旭1丁目1番5号

(宇都宮市役所)

宇都宮市総合政策部広報広聴課

行



3 2 0 8 7 4 0

3

氏名	住所	
年齢	歳	職業

差し支えがなければ記入してください。広報紙で意見を紹介する際には、氏名の記載はしません。なお、ほかの情報については、目的以外には使用しません。